

八十三 墓標建立墓前祭

これの所を千代の住所と永久に変わる事無く 動く事無く安
く穏にありし日の古き衣を鎮め奉り坐せ奉る昭和 年

月 日八十歳を以て逝かれし故△△△△△△大人を始め

昭和 年 月 日三十歳の世帯盛りに身退りし

故△△△△刀自 同同年 月 日いと短きつばみの一才に

て あっけなくこの世を去られし故△△若子の御墓の御前に

慎み敬い恐み恐みも白す

汝が大人たちの家族親族を始め 相識れる人親しき人々

長男○○氏の家庭に相寄り集い 現世の在りし日の俤を

俤びつ、 どやありけむ かくやありけむとどりの話の花

を咲かせつ、 厳かに靈祭を仕え奉りしが 今し墓標建立

の儀式を併せてつとめ奉らくと 打ち揃いてこれの御墓に足

を運び 除幕の儀こゝに恙なく仕え終え 海川山野の種々

の味物を捧げ奉り拝み奉らくを甘らに聞食し諾い給いて

いよく家門を守り負持つ祖先の名を高めんものと それ

ぐに固く心を定め相誓える様を 御心持美わしく受け給

い 遺れる家族親族を始め御子たちの行く末を天翔り玉翔

り守り幸い給い 思召される陽氣ぐらしのひながた家庭を

周囲の社会にうつし給えと 恐み恐みも白す